

会議等出席報告書

総合戦略部 経営戦略課

会議等名	第2回甲斐市地域公共交通会議		
開催日	令和5年2月21日(火)午後2時00分から	場所	本館3階 大会議室
出席者	委員長(瀬戸副市長)、委員(一瀬委員、鈴木様(篠原委員代理)、塩沢委員、穴水委員、鰻池委員、中村委員、田中委員、進藤委員、秋山委員、野田委員、本住委員、佐野委員、武藤委員、山本様(金子委員代理))、事務局(経営戦略課:酒井課長、石原係長、山下)		
別紙 進行表に基づき進行。			
1. 開会(司会:酒井課長)			
資料確認。			
席次については本来顔が見えるように囲みの席とするところであるが、コロナ感染症防止対策として、今回の席次としたことをご了承願う。			
2. 委員長あいさつ(瀬戸副市長)			
令和4年8月29日の第1回の会議については、コロナ禍により書面開催とした。委員の皆様にお集りいただくのは、本日が初めての会議となる。第1回は甲斐市民バスの利用状況及びAI オンデマンド交通実証運行の実施について、同意をいただいた。今回はその結果報告となる。来年度の竜王・敷島地区での実証及びその後の本格運行に繋がる有意義な会議となるようお願い申し上げます。			
(司会:酒井課長)			
今回初めての顔合わせとなるため、委員の紹介をする。			
→委員名を読み上げ紹介→事務局の紹介→日建設計総合研究所紹介			
それでは案件に入るが「甲斐市地域公共交通会議設置条例」第6条第1項により、会長が議長となるため、瀬戸会長に議事進行をお願いする。			
3. 案件(議長:瀬戸委員長)			
(1)甲斐市 AI オンデマンド交通実証運行の運行結果について			
・かいのり冊子及び資料2を用いて説明(事務局:石原係長)			
・登録者アンケート結果については、後日送付			
【質疑応答、意見】			
委 員	:非常に利用されているという印象を受けた。質問としては、利用目的がはっきりわかるような箇所(買い物施設、娯楽施設、通勤通学等)の利用状況はどうか、またこれ以外の想定される需要はどう考えているか。		
事 務 局	:買い物利用が非常に多かった。駅については、通勤通学での利用を見込んでいたが、朝の利用は少なかった。需要を考え、今回区域内の診療所等には停留所を設置したが、区域外(響ヶ丘)の診療所への行先希望が多かった。		
委 員	:本格運用はいつからか。		
事 務 局	:令和5、6年度で地域公共交通計画を策定していく予定である。その計画の中でAI オンデマンド交通の運行が認められれば令和7年度からの本格運用になると考える。		

議 長：来年度の話はまた次回以降の会議での話となるが、今年度、来年度の実証結果を踏まえて7年度以降対応していきたい。

(2) 令和5年度甲斐市民バス イオンモール甲府昭和前停留所の移設について

・資料3-1～3-4を用いて説明(事務局:石原係長)

【質疑応答、意見】

委 員：イオン、運輸支局と今から協議を始めて迂回するかどうか決めるという理解でよいか

事 務 局：イオン様と、市民バスの運行委託をしている山梨交通様には既に話をしている。ルートや時刻が変更となる可能性があるため今後協議を進めていくが、移設自体は可能である旨の返答をいただいている。

4 閉 会 (酒井課長)

午後2時30分頃終了